



川内小学校だより

ゆずり葉

第4号 令和8年6月26日



川内の自然を活用した学習

この5月の下旬頃から山田川で美しいホタルをたくさん見ることができ、川内地区は本当に自然に恵まれた良いところだなと実感しています。今号では、川内地区のシンボルであるホタルや虫についての活動をお知らせします。

ホタルの命を引き継ぐ活動をしています

山田川でこんなにたくさんホタルを見ることができるのも、「山田川にホタルを呼び戻す会」の方々をはじめ、川内地区の多くの方々が自然を大切にしてくださっているからこそだと感じています。

川内小学校では、この会の代表である高久陽一さんにご指導いただき、3年生の総合的な学習の時間でホタルを育てています。5月下旬に高久さんからホタルの成虫と水草をお預かりし、学校の廊下で産卵の様子を見守ってきました。2時間おきに水草に霧吹きで水をかけながら、乾燥しないように見守ってきました。卵を産むとホタルの成虫は死んでしまうと言われているので、元気なホタルが多いことから、卵が生まれているか心配でした。しかし、高久さんの家へ持っていったところ、たくさん卵が生まれていることが確認できました。

現在は、この卵からホタルの幼虫にかえるよう、今度は1時間おきに霧吹きをしながら子供たちと見守っているところです。ホタルは川内地区にとって大切な自然遺産の1つだと考えています。たくさんの幼虫が卵からかえり、子供たちが山田川に放流に行けることを楽しみにしています。



2年生の虫探し



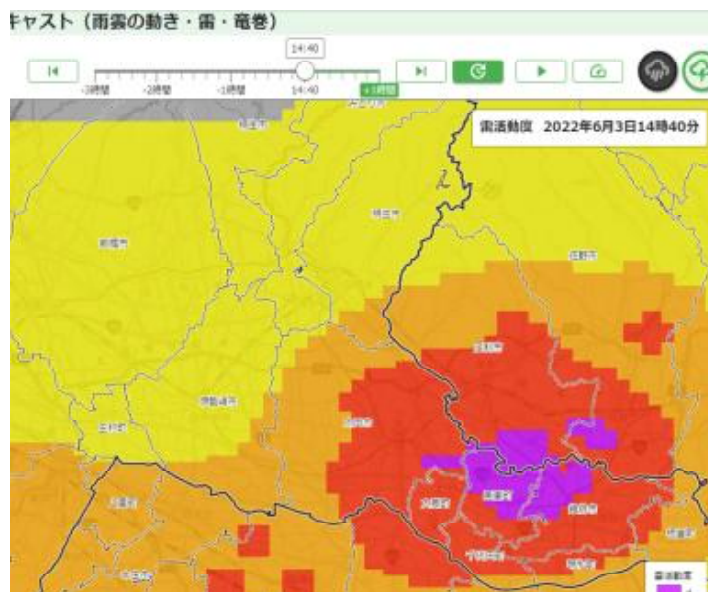
2年生は、生活科の「生きもの なかよし 大作せん」の学習で山田川で「虫探し」をしました。この学習は動物（昆虫や虫）を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとする態度を育むことをねらいとしています。

安全な川に入って水生生物を探す子や草の間に潜んでいるバッタや蜜を吸いに来るチョウを捕獲する子もいて、とっても楽しんで活動していました。

こちら高久さんはじめ、多くのボランティアの方にお世話になりました。ありがとうございました。ボランティアの方の「こんな自然に囲まれたところで体験できて、みんな幸せだね」と言っていた言葉がとても印象的でした。

学校での雷対策

気象庁 雷レーダーナウキャストの活用



暑くなるにつれ大気の状態も不安定な日が増えてきました。川内小学校では雷から子供たちを守るため、気象庁の雷ナウキャスト(左図参照)を活用して下校のタイミング等を判断しています。雷ナウキャストは、雷の激しさや雷の可能性を1km単位で解析し、1時間後までの雷の活動度を1～4で表してくれます。下校時には、このシステムを活用して、雷雲の移動方向を確認するとともに、雷雲の活動度が高くないうちに、学校から1番遠い子供たちが安全に自宅まで到達できるよう考慮して、下校時のタイミングを判断しています。

ただ、雷ナウキャストでも、天気急変には完全に対応できないこともあるので注意が必要です。学校では、雷雲の色を目視したり、

雷鳴があるかどうかを確認したりしていますが、天気が急変した場合でも子供たちが自身の安全を守ることができるような教育も行っています。

7月から新しい交通当番表になります

保護者の皆様には、朝の大変お忙しい中を子供たちの安全を守ってくださり大変ありがとうございます。PTA生活環境部の皆様のご多用の中を作ってくださいました7月からの交通当番表を「すぐーる」にて配布させていただきました。ぜひ、ご確認をお願いいたします。

近年、子供たちの数も少なくなり、その反面、交通当番の回数が多く回ってきて、保護者の皆様のご苦労もお察しいたします。また、夫婦共働きのご家庭も増え、忙しさにも拍車がかかっていることと思います。そんな中ですが、都合のつかない場合には、連絡を取り合って交換しあい、子供たちの安全を守ろうとしてくださる方が多いのに感謝しています。

その一方で、旗振り当番にいらっしゃらない方もいるということをお耳にします。先日、地域の方から「今日は旗振り当番が立っていないね。」とのご指摘をいただきました。ご自身やお子様の急病等で当番ができないこともあろうかと思いますが、子供たちの命を守るためにも可能な限りのご配慮をお願いいたします。

また、6月30日(火)には学校評議員会という地域の代表の方が集まって川内地区の子供たちのことを考える会があります。子供たちが少なくなった現状を踏まえ、保護者の皆様だけでは大変になっている交通当番状況を地域の皆様と共有し、改善策を考えていきたいと思っています。

